

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

第23号

2012年4月15日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局  
千葉市中央区要町2-8 DC会館内  
TEL 043-222-7207  
nationwidemovement@yahoo.co.jp

# 新自由主義への怒り集め 6・10 国鉄全国集会へ！

## 全国運動に新たな呼びかけ人

### 阿部宗悦さん (女川原発反対同盟)、前嶋登さん (富士地区労働組合会議議長 元全日建中央副執行委員長)



#### 1人がさらに1人の会員の獲得を

動労千葉を支援する会事務局長 山本弘行

ご存知のように動労千葉は、労働組合の壁を越えて職場に反乱をつくりだし、2010年4月1日以来3度目となるJR東日本の検修全面外注化の実施を阻止しました。

JR東はこの1月、京葉車両センターにおいて、まったく整合性のない1日働の外注化を職制と革マル分子を使って強行しましたが、青年労働者を中心とした職場からの怒りの噴出に恐れをなし、右往左往を繰り返しています。

また千葉労働局は、偽装請負の事実があまりにも明らかなために、「本件は本庁(厚生労働省)扱いだ」と言って逃げるばかりで、一切具体的な対応を行おうとしません。検修職場で偽装請負が暴かれれば、JRが今まで積み上げてきた偽装の山が総崩れになることに心底恐れているということです。

また、千葉運転区支部長並びに銚子支部長を含む13人の組合員への強制配転の事前通知に對

い労働者階級全体の利害のなかった「崇高な闘い」(動労千葉組合員の言葉)として「当たり前」に受け止め、組織拡大の戦略的な意味をワッパリと確認し、ストライキにも勝る威力をそこに注入して闘う個々の動労千葉組合員の構えにあることは言うまでもありません。

そして二つ目には、新自由主義の一層の推進のみを生き残りの手段とした資本主義、そのあまりにも残酷なあり方に対する怒りが(舌を噛み切った)煮えだぎっているということです。

40%もの労働者が非正規職に落ち込み、働く誇りと尊厳を奪われています。2000万人が年200万円以下の生活を強制され、孤独死や餓死が日常茶飯事と化し、1998年以来連続して3万人の自殺者という現実です。

加えて、2008年に「年越し派遣村」で断罪された労働者派遣法も、完全に骨抜きのまま「改正案」が可決されました。憲法第25条の「全ての国民は、健康で文化的な最低限の生活を営む権利がある」など、まったく絵空事に帰しています。

客体側の条件は完全に整っているということです。2000名会員」は単なるスローガンではなく、私たちの手中に収めることのできる極めて実践的目標です。

#### 「やればできる」実感

物販を水路にして「動労千葉を支援する会」を立ち上げたことの大変さが、いくつもの職場・地域から報告されています。支援する会が非正規職の雇止

め阻止の闘いの中軸を担い、その撤回をかちとった職場。執念をもって通いつめ「いつもあいつが来ている」ということで分會長と意気投合し、ついに本部を動かした闘い。

また、正規・非正規一体で支援する会を組織し、人員合理化と震災の中で引き起こされた仲間間の死を絶対に曖昧にせず立ち上がり支部全体を揺るがしている闘い。

「余分な敵はつくらずに」闘いの正当性において「誰にも文句を言わせない」状況をつくり出し、労組として原発の再稼働反対と廃炉を要求していくという素晴らしい闘いの報告。

そして、厳寒の中で年に3度目の物販を組織的に取り組むという試みも行われ、春闘集会を

#### ●国鉄闘争全国運動6・10全国集会

6月10日(日)午後1時(12時半開場)  
文京シビックホール  
(主催) 国鉄闘争全国運動

#### ●尼崎事故弾劾4・21全国総決起集会

4月21日(土) 13時/JR尼崎駅北口広場  
(呼びかけ) 国鉄千葉動力車労働組合  
(呼びかけ) 国鉄闘争全国運動・関西準備会

組織する過程で新会員の獲得に成功するなど、多くの職場・地域で「やればできる」ことが具体的に実証されています。

階級的労働運動の再生に人生をかけ、国鉄1047名解雇撤回闘争を共に闘い抜いている仲間のみならず！

国鉄闘争全国運動に付託された歴史的な役割と、会員拡大功へ奮闘していきましょう。

の持つ巨大なインパクトを再確認し、新たな国鉄闘争の胎動を共にし、生きる希望と未来をとり戻す闘いに歩を進めていきましょう。

外注化阻止決戦と夏季物販闘争を闘い抜き、1人がさらに1人の会員を獲得し、国鉄闘争全国運動の6・10全国集会の大成

#### 港合同大和田事務局長の逝去にお悔やみ申し上げます

全国運動の呼びかけ人であり、全国金属機械労働組合港合同事務局長であった大和田幸治さんが3月17日に逝去されました。大和田事務局長の逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。以下、大和田さんの全国運動への呼びかけ文を掲載し、国鉄闘争全国運動の発展をあらためて誓いたいと思います。

\*

今年国鉄分割・民営化で不当解雇から25年です。一昨年の政治和解で多くの争議団は涙をのみましたが、国労闘争団、動労千葉争議団が信念を貫き闘いを堅持しています。私たち港合同は、闘う仲間が勝利を手にするまで断固としてともに闘うものです。

大阪では、大阪維新の会の松井知事と橋下市長によって大阪市の労働者(職員組合、労働組合)が築いてきた諸権利が破壊されようとしています。

橋下市長は、今回の選挙で前市長を応援した市の労働組合に対して報復的攻撃を重ねています。教育基本条例、職員基本条例、労働組合の政治活動を禁止する条例を2月議会に提案するとしており、市役所本庁の組合に対し事務所の明け渡しを迫り、各区の支部に対しても、必要最低限のロッカーや、コピー機の設置に必要なスペース、勤務時間外の会議室の無償使用等、今後一切認めないと通知しました。



国鉄分割・民営化を強行した中曽根が推進した原発は、とり返しのつかない地球上の危機を呼び起こした。為政者は人民や労働者に一切責任を持たない。腐敗する政界、権力者に対し闘う労働者は何者も恐れず断固として闘うべきである。(大和田幸治・全国金属機械労働組合港合同事務局長)



### 定昇解体・賃下げ攻撃と対決し 「支援する会」の会員を拡大!

動労千葉を支援する会・東京北部事務局

3月10日、東京武蔵野病院において、精研労組(精神医学研究所附属東京武蔵野病院労働組合)呼びかけの春闘集会が行われ、組合員の延べ人数55人、地域の仲間48人、計103人が集まりました。



精研労組は、12月から春闘を減らされ、その結果看護部では事故件数が月間で100件増加するという状況です。「命よりもカネ儲け」を優先した結果が今年の黒字1億5000万円という莫大な利益と疲弊してきた現場。絶対に許せません!



3月5日の団交では、管理職に対しては手当増額をし、その一方で医師・正看護師・准看護師以外の非正規職に対しては正

規化に試験制度導入という経営側提案がされました。

「もっと競争しろ」「文句を言うな」と正規と非正規を分断し、そして全体の非正規化・低賃金を狙っているのです。こうした日本経団連の「経営労働政策委員会報告」の定昇解体・非正規化と対決する春闘行動として3・10はありました。

「一律大幅賃上げ要求に応えよ!」。こうした正規・非正規の分断を越えた闘いとしてこの日の行動が行われました。3カ月の有期雇用と闘う西部ユニオン・鈴木コンクリート工業分会の3人の労働者が駆けつけ、「非正規職が闘ってもクビを切られるだけ」という資本の圧殺の論理を打ち破れることを、圧倒的な意気高い発言で示してくれました。

この間の鈴コン支援の労組回りで交流を深めてきた自治体・教育・郵政・医療など地域の労組からの賛同の発言やメッセージ

雨が降り、集会後の交流会の中で、精研労組の中から「動労千葉を支援する会」会員に2名の昇凍結」を断念せざるをえなくなりました。団結して闘えば勝

### 「組織拡大で反撃するぞ」怒りの総決起集会

強制配転に動労千葉



動労千葉は3月28日、「事前通知強行弾劾! 組織破壊攻撃粉砕!」「ローカル線切り捨て許すな! 業務の全面外注化阻止!」を掲げた緊急の総決起集会を行いました。組合員ら150人が集まりました。千葉連区と銚子の両支部長、本部役員が強制配転の対象で動労千葉の組織破壊を狙う明確な不当労働行為です。集会で新組合員の加入が紹介され、「組織破壊攻撃に対し、最強の支部をつくり、組織拡大で反撃しよう」と訴えました。

てるのです。さらに、集会後の交流会の中で、精研労組の中から「動労千葉を支援する会」会員に2名の昇凍結」を断念せざるをえなくなりました。団結して闘えば勝

て闘っていきましょう。いまやJRや自治体、郵政職場をはじめ、あらゆる職場で怒りが吹き出しています。地域・産別で力を合わせ、今春闘を勝利させましょう。

### 4・1JR九州弾劾行動報告

羽廣憲 (国労小倉地区闘争団)

珍しく晴天での行動になった全国運動・九州の4・1JR九州弾劾大行進は、地元で反原発を闘うNAZEN・福岡やス労自主、レイバーユニオン福岡、福岡県労組交流センターの仲間、そして長崎からも合流し、ハデハデな行動になりました。

最初にマイクを握った私は、今日の非正規や派遣労働の始まりだった国鉄分割・民営化を弾劾しました。

6時間30分の遅れだったので、東京から鹿児島まで走っても有り余る時間が掛かったのです。また、乗務員が列車の故障を列車の上に乗って修理するなどまったくもって考えられませんでした。警備に出てきた博多駅の駅長に尋ねたら、「緊急時はいいんだ」と言ったのです。

「いい加減しろ」と言いたい。緊急時及び故障の時の教育訓練がまったくなされていない。1年間に新幹線を走らせていたとは正気の沙汰ではありません。乗客、乗員のことなど微塵も考えていないことがハッキリしました。これが民営化の行き着く先だということも明らかに

なりました。このことを徹底的に弾劾し、青年の未来をも奪っている非正規職化と一体だということを明らかにしました。ヒラのはげが良く、用意したヒラは1時間待たずに無くなってしまう、マイク街宣のみとなりました。総勢25名が参加して国鉄闘争は終わっていないことを訴え切れたと思います。最後は青年のシュプレヒコールで街宣を締めくくりました。昨年が続いて大成功でした。ちなみにJR九州本社は街宣をしている目と鼻の先にあり、シュプレヒコールを本社に向かって叩きつけてやりました。

### しっかり職場闘争をやりぬき会員拡大を

動労千葉を支援する会・広島事務局

昨年11月労働者集会に向けて会員100人達成への挑戦を打ち出しました。しかし、会としての実践方針を鮮明にさせることができず、会員1人ひとりの努力に依存したものに止まっています。

数人の会員化があったものの、特に11月労働者集会と一体で拡大させることに成功したとは言えません。数人の拡大も職場や地域での新たな拡大というものはなく、従来の勢力があらためて会員となったというものでした。

労働者の中に、「困ったことがあったら組合に相談しよう」という気風が生まれ、確たる組合の権威が立ち立てられたのです。

国鉄闘争全国運動として、各職場で合理化、非正規職化、外注化を許さず、その闘いを通して団結を固めていくことが重要であり、そうした闘いを先進的にちかちかしている動労千葉との日常的結合を物販などで生み出し、ひいては闘う労働運動の新しい潮流をつくりだす力を形作っていくことが会員拡大の土台です。

やはり職場闘争をしっかり実践するということです。支援する会・広島では昨年末の総会で「職場闘争、物販、会員拡大をひとつに闘い、階級的労働運動の拠点建設を」と確認しました。6・10国鉄集会に向けて今度こそ100人会員の支援する会を実現する決意を新たにしています。